

I) 3D添景データの作成

かつて3Dの重いデータの添景を利用していましたが、現在では写真を切り抜いて軽い添景ができます。影などもできます。例えばプレゼンするときお客様の写真を借りておけば画像の中にリアルな画像を取り込むことができます。予め了解を頂かないとクレジット（肖像権など）の問題がありますが、限られた範囲内でのことならOKだとも思います。

なぜ添景かというと

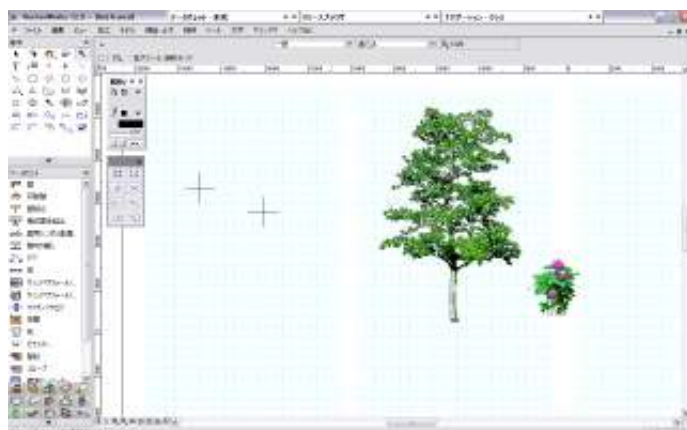
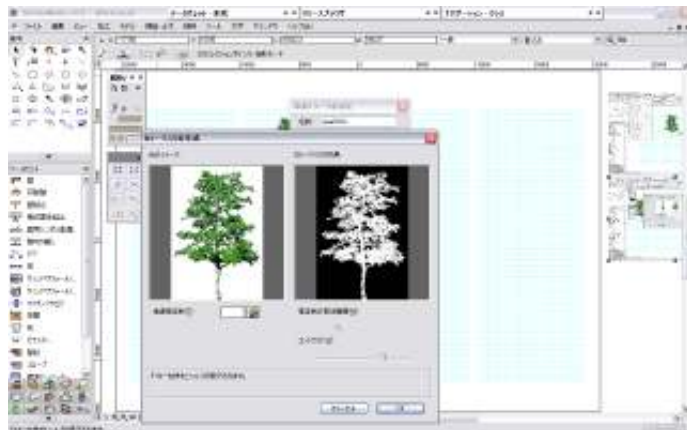
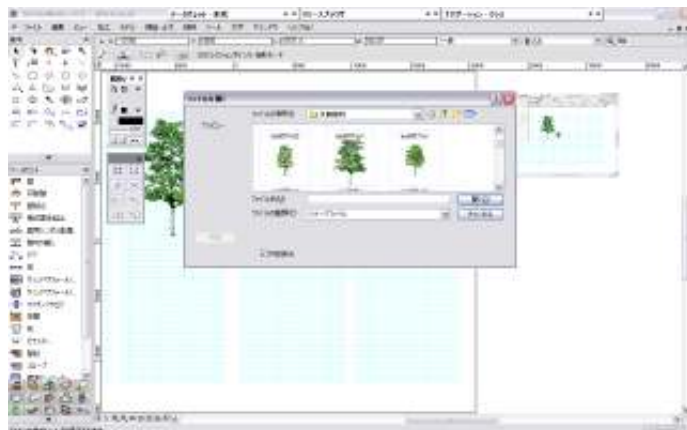
1. 建築物に人物を入れるとスケール感がでる
建物の大きさが想像できます。
2. リアルな表現ができる
などが考えられます。

左上1枚目の写真は元画像の単なる写真です。モデルツールの 添景を作成で予定フォルダから写真を取り込んで、マスクの設定では マスクあり を選択します。それ以外はすべてcheckを入れます。次にマスクの作成をクリックしてイメージの取り込みを選択しOKします。余分な背景を透かすため、同じ画像を再度開きます。マスクの作成で 色をcheck

し、OK、OKでダイアログを閉じます。

左一番下の写真の状態になります。これは2D画面です。右上の画面が3D鳥瞰になります。影までできてちょっとリアルです。右上の写真の左側が元の写真です。

取り込み写真にはちょっとしたコツがあります。ご自分で写真を撮る場合は、太陽が直接当たらない場所や曇りの日の撮影がベターです。影が出て不自然になったり、被写体の表情が眩しそうだったりして不自然です。



II) ダウンライトの表現あれこれ

パースなんかで時々ダウンライトの表現をしますが、スポットライトを逆向きにして天井面を照らすのはいかがでしょうか？（右写真3枚目）・・・。エスキース感覚ですぐ移動できますし、いろんな調整がすぐできるような気がします。その他、天井面に柱状体で穴あけをしてそのうえに点光源を置くという手もあります。（右写真4枚目）

III) CADの展望

施工には3Dパースは役に立たない。じゃあパースそのものに3D文字でも入れようか。要は設計意図が伝わればいい。自由な発想を推し進めるにはいわゆる自動CADは使い物にならない。例えば壁、例えば屋根、床をクリックすれば面積の表示をしてくれるだけでも助かるのに・・・。
今は立体をなぞって多角形を作りそれにいろんな情報を持たせばワークシートに展開できる。
何か3Dモデルにすべての情報をもたす手立てはないものかと考えてる昨今です。またはプレゼンはプレゼン、施工詳細は施工詳細で今のままいくのか、。。。。。。。。。。。

